

ロンドンオリンピック障害馬術個人代表人馬の選考について

2010年世界馬術選手権大会と2011年7月に開催された地域予選競技会における杉谷泰造選手とアヴェンツィオ号の実績により、日本は2つの個人出場枠を与えられました。

1枠の代表人馬については、選考基準に基づきこの出場枠を得るにいたった当該人馬である杉谷選手とアヴェンツィオ号に決定しております。しかし、同基準では、同一人馬の実績によって日本が複数の出場権利を得ることを想定していないことから、2つ目の枠の取り扱いについては、参加条件の一部を変更し新たな選考基準を設定して代表人馬を選考することとします。

なお、杉谷選手が新たな馬とのコンビで出場を希望する場合、FEI 出場最低基準（以下 MES という）を満たしていることを条件として代表人馬とします。

◎個人出場人馬決定のための選考基準

代表人馬の選考は、選考競技会を開催し以下の手順によって行う。

【選考人数】

代表人馬 1人馬

補欠人馬 2人馬

※すでに決定している代表人馬が、選考競技会当日までに何らかの事情でオリンピックに出場できない事が判明した場合は、2人馬の選考を行う。

【選考方法】

1. 指定の手順により MES を取得した障害馬術ナショナルチームに認定されている人馬の中より選考する。
2. 選考競技会は1回とし、5月下旬から6月上旬に欧州で開催される 3*以上の CSI または CSIO の競技会を選考競技会として指定するかあるいは日馬連が欧州で独自に開催する選考競技会とする。
3. 選考競技会における第1位の人馬を代表、第2位、第3位を補欠人馬として内定し、オリンピック等対策委員会、理事会の承認を得て JOC への推薦人馬を決定する。
4. JOC への推薦締め切り期限までに推薦人馬がオリンピックに出場できない事が判明した場合は、補欠人馬を繰り上げる。

